

ゲムシタビン+カルボプラチン療法					
		Day			
薬剤名	用法用量	1	8	15	21
ゲムシタビン (GEM)	1000mg/m ² 点滴静注 (30分)	↓	↓		
カルボプラチン (CBDCA)	AUC=5 点滴静注 (2時間)	↓			

【制吐対策】

- ① 5-HT₃受容体拮抗薬 (Day1)
- ② アプレピタント125mg (Day1) 、 80mg (Day2、 3)
- ③ デキサメタゾン6.6mg 静注 (Day1) 、 8mg 経口 (Day2、 3)

【基本事項】

非小細胞肺癌

【レジメンポイント】

- ① カルボプラチンの投与量の確認

- ・ 【Calvertの式】

$$\text{投与量(mg)} = \text{目標AUC(mg/mL} \times \text{min)} \times \{ \text{GFR(mL/min)} + 25 \}$$

- ・ 【Cockcroft-Gaultの式】

$$\text{GFR(男性)} = \{ (140 - \text{年齢}) \times \text{体重(kg)} \} / \{ 72 \times \text{Scr(mg/dL)} \}$$

$$\text{GFR(女性)} = 0.85 \times \text{GFR(男性)}$$

- ② ゲムシタビンは30分間で投与、副作用増強のおそれがあるため。また胸部へ放射線療法を施行している患者は禁忌

【主な副作用】

悪心・嘔吐、発熱、発疹、静脈炎、腎障害